

D部門論文委員会意見交換会

2011年9月8日(木)

琉球大学 千原キャンパス 工学部1号館202教室

議事次第

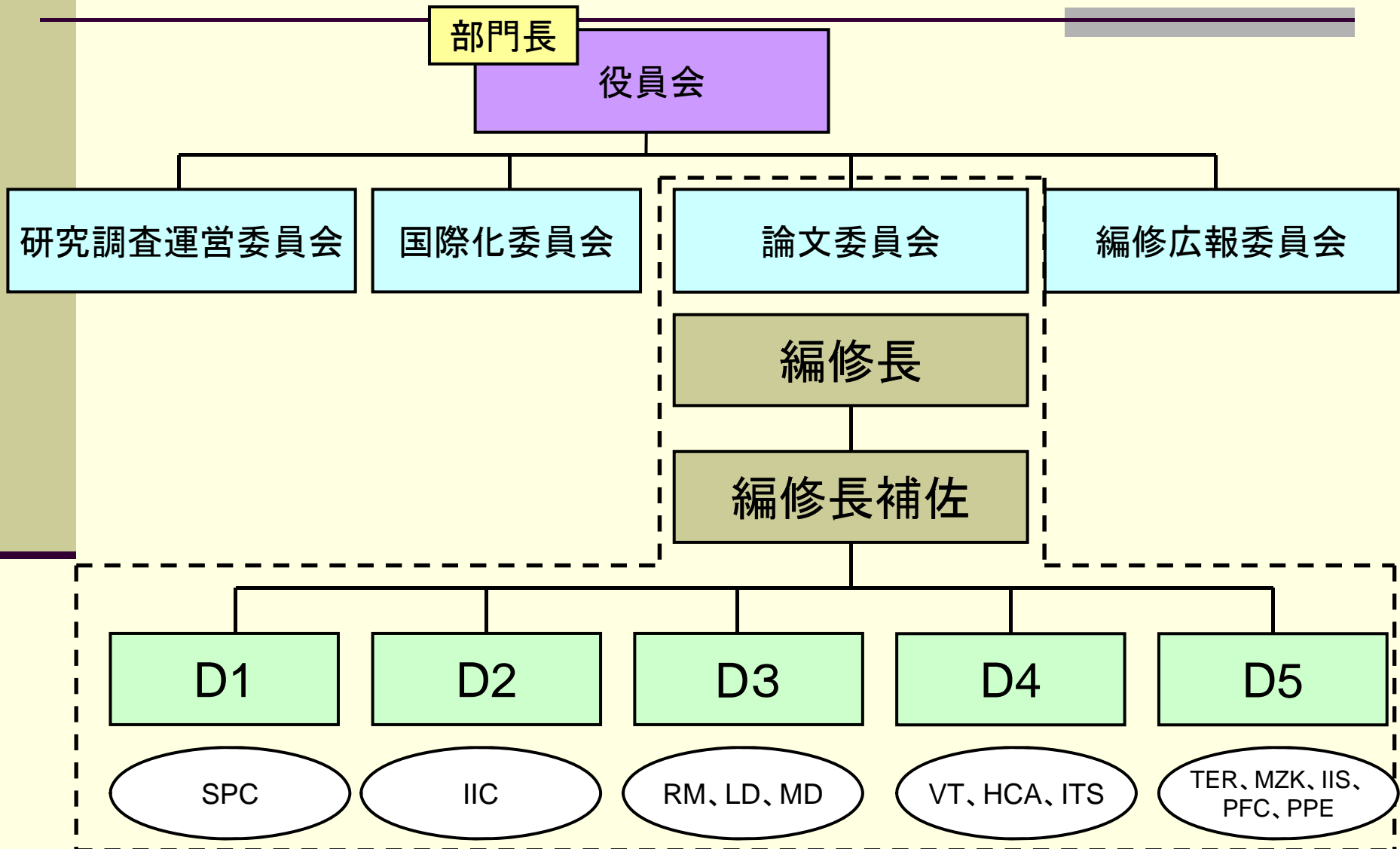
- 論文委員会の新体制紹介・編修長あいさつ・・・竹下編修長
- 最近の論文委員会の活動について・・・竹下編修長
- 査読マニュアルについて・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況・・・・・・・・・・・・事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況・・・・・・村上編修長補佐
- 電子投稿査読新システムの立ち上げについて・・村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- フリーディスカッション

論文委員会の新体制紹介

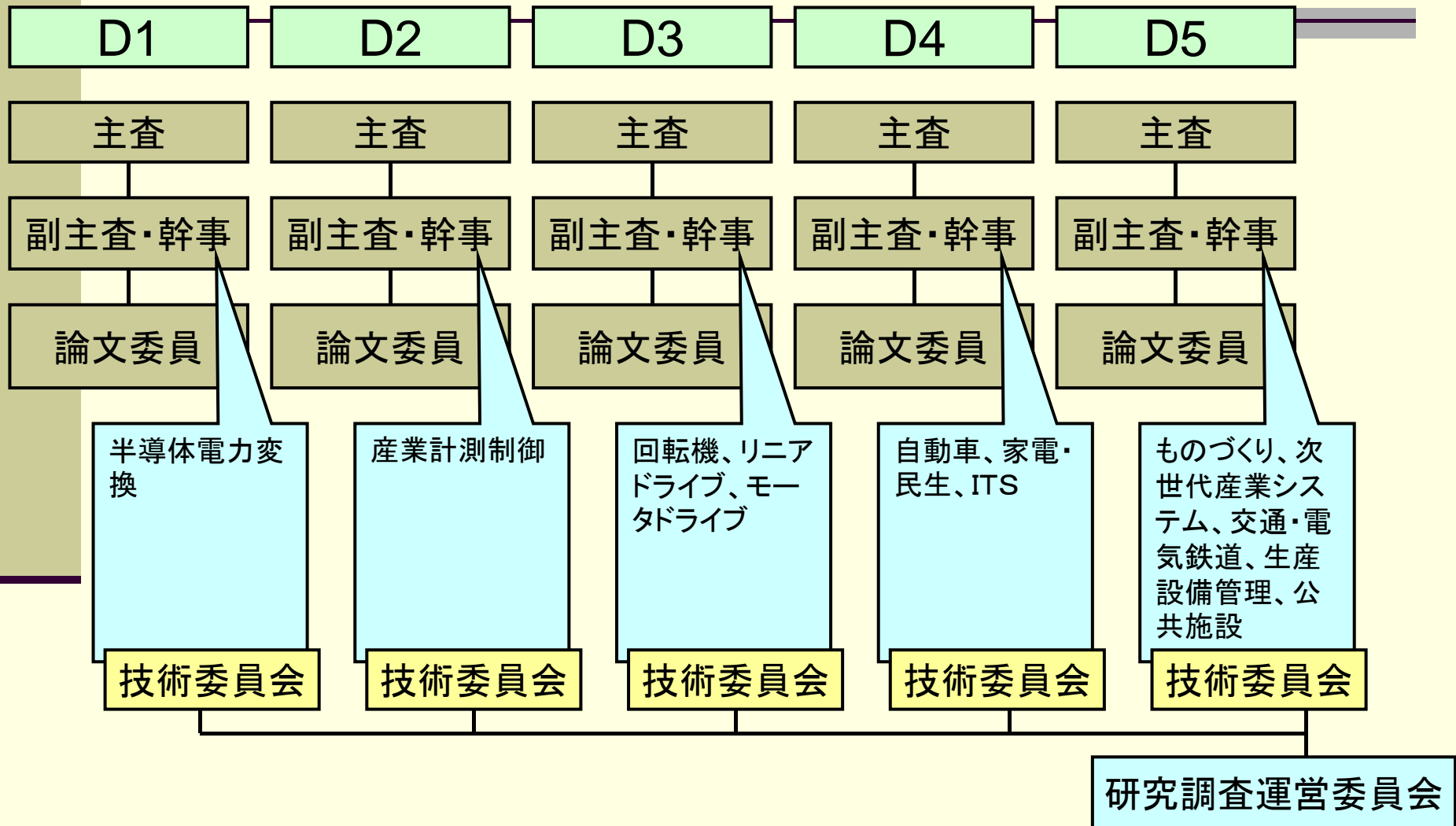
編修長あいさつ

編修長 竹下隆晴
(名古屋工業大学)

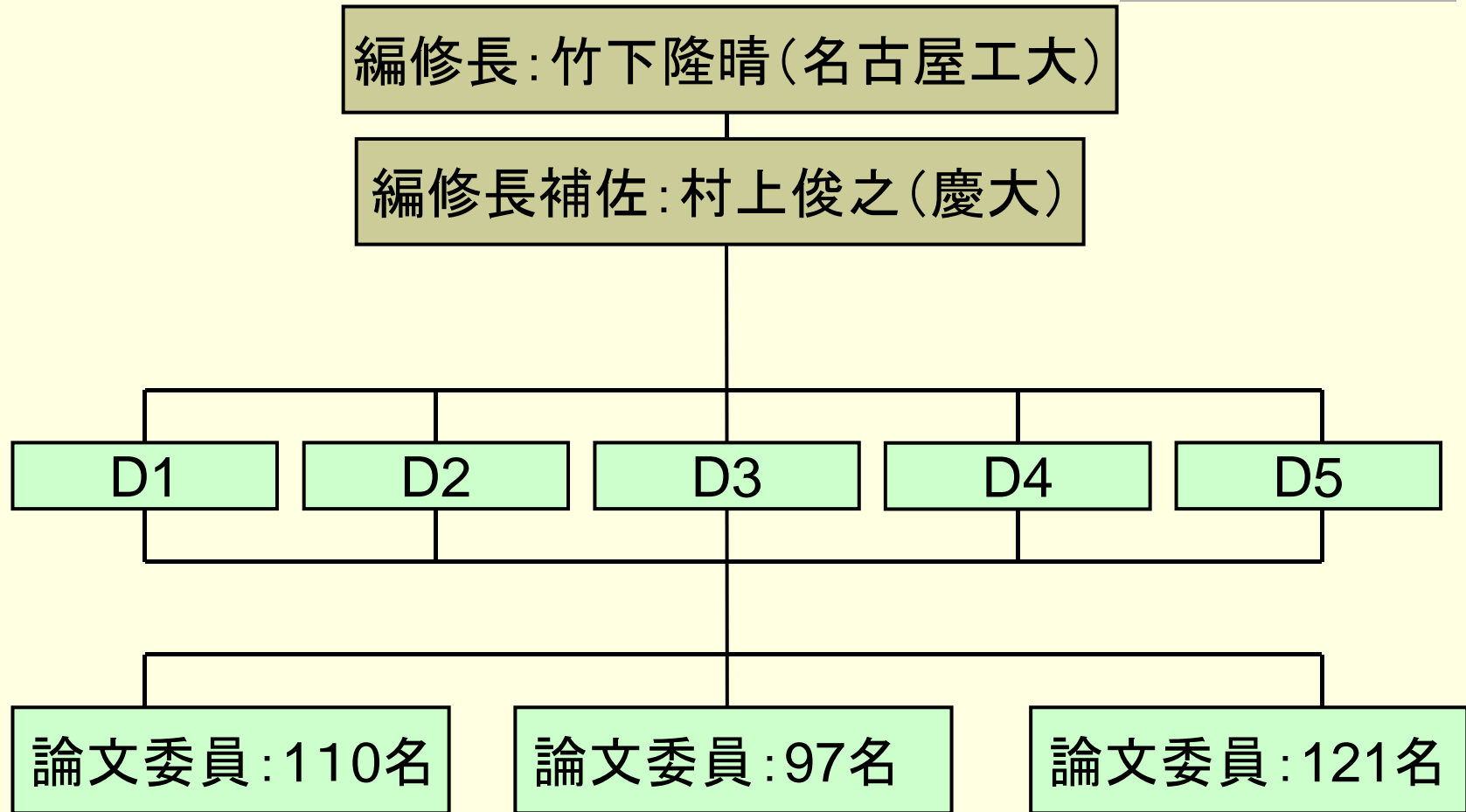
D部門における論文委員会



論文委員会の組織



論文委員会の構成



2011年度メンバー(D1)		
役職	氏名	所属
主査	木村 紀之	大阪工業大学
副主査	船渡 寛人	宇都宮大学
幹事	綾野 秀樹	(株)日立製作所
"	庄山 正仁	九州大学
"	中沢 洋介	(株)東芝

2011年度メンバー(D3)		
役職	氏名	所属
主査	米谷 晴之	三菱電機(株)
副主査	村井 敏昭	東海旅客鉄道(株)
幹事	野口 季彦	静岡大学
"	樋口 剛	長崎大学
"	廣塚 功	中部大学
"	三上 浩幸	(株)日立製作所
"	川村 光弘	東芝三菱電機産業システム(株)

2011年度メンバー(D2)		
役職	氏名	所属
主査	森本 雅之	東海大学
副主査	山口 高司	(株)リコー
幹事	岩崎 誠	名古屋工業大学
"	高橋 悟	香川大学
"	駒田 諭	三重大学
"	満倉 靖恵	東京農工大

2011年度メンバー(D4)		
役職	氏名	所属
(主査)	森本 雅之	東海大学
副主査	道木 慎二	名古屋大学
幹事	浜松 芳夫	日本大学
"	叶田 玲彦	日立製作所
"	富樫 仁夫	三洋電機

2011年度メンバー(D5)		
役職	氏名	所属
(主査)	木村 紀之	大阪工業大学
副主査	亀井 克之	三菱電機(株)
幹事	近藤 圭一郎	千葉大学
"	市川 紀充	工学院大学
"	鈴木 健嗣	筑波大学
"	結城 和明	(株)東芝

本日の出席予定者数

出席者総数: 67名 (H22: 89名、H21: 63名)

- D1 120名
 - 出席: 32名、欠席: 23名、未定: 65名
- D2 104名
 - 出席: 14名、欠席: 24名、未定: 66名
- D3 128名
 - 出席: 15名、欠席: 37名、未定: 76名
- D4 4名
 - 出席: 0名、欠席: 1名、未定: 3名
- D5 6名
 - 出席: 3名、欠席: 1名、未定: 2名
- 編修広報委員
 - 出席: 3名

編修長あいさつ

- 論文をよりよいものにしよう！
- 編修作業をより透明にしよう！

論文の著者と査読者に共通認識を持っていただくことが重要

- 査読マニュアルの周知・徹底
- 論文委員会ホームページの活用
- ニュースレターの積極的な活用

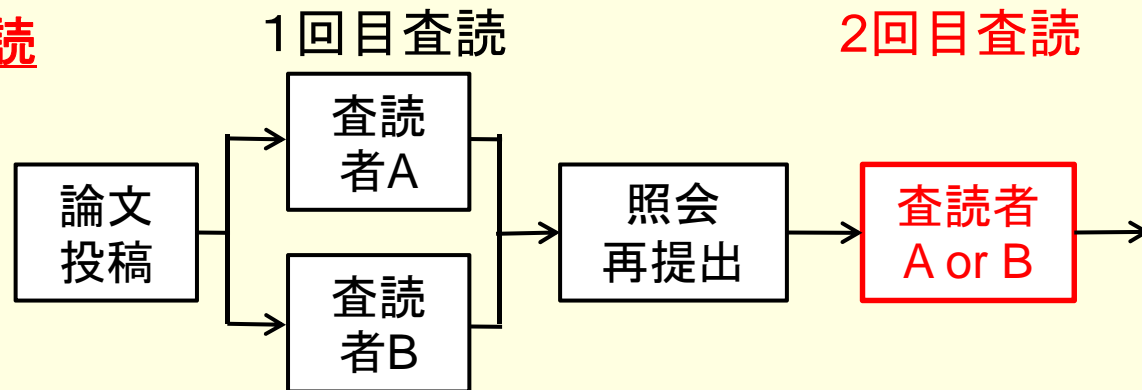
最近の論文委員会の活動について

- 論文委員会グループ構成の改編
D1～D5グループへの改編
- 論文誌の電子化
今年5月号 論文誌より電子論文閲覧のみ
掲載料を従来の約65%に減額
- **論文査読プロセスの変更** (2年間の試行)
2回目査読 (再提出論文の査読)
従来: 1名査読
現状: 2名査読 (他の1名の査読結果の開示)
- **D部門英文論文誌発刊**
2012年7月より隔月発刊, SCI登録取得を目的¹⁰

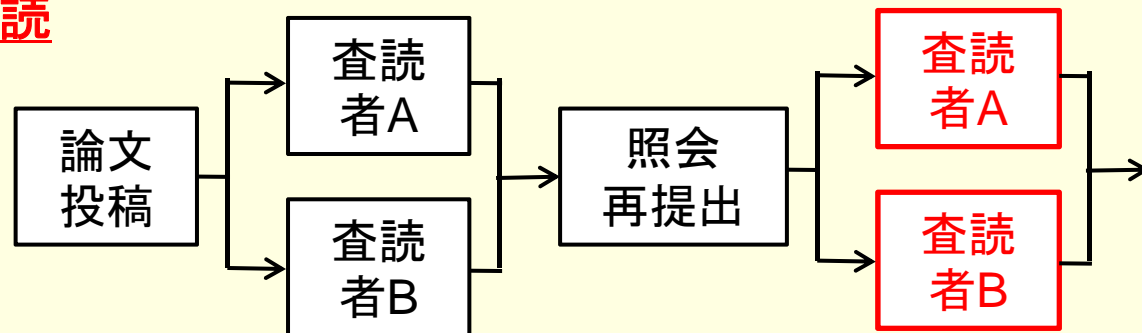
論文査読プロセスの変更

- 2回目査読(再提出論文の査読)の2名査読
目的: 従来2回目査読を担当しない論文委員に,
他の1名の査読結果を開示

従来査読



現状査読



D部門英文論文誌発刊

- 目的：SCI登録の取得
論文誌のグローバル化
- 発刊計画
 - 2012年7月より隔月発刊(7月、9月、11月、・・・)
 - 基本電子ジャーナルのみ(冊子体なし。経費削減)
 - オープンアクセス(3年無料閲覧。読者・引用数増)
 - 論文のネイティブチェックサービス
(選択制、有料、2万円程度／6ページ)
 - 特集号企画(論文投稿をお願いする)

議事次第

- 論文委員会の新体制紹介・編修長あいさつ・・・竹下編修長
- 最近の論文委員会の活動について・・・竹下編修長
- 査読マニュアルについて・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況・・・・・・・・・・・・事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況・・・・・・村上編修長補佐
- 電子投稿査読新システムの立ち上げについて・・村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- フリーディスカッション

査読マニュアルについて

編修長 竹下隆晴
(名古屋工業大学)

査読マニュアルの目的

- 目的

- 論文査読の基準を明確にすること。
- 論文投稿者と査読者が論文に対して共通の認識を持つこと。

- 査読期間を短縮すること。

- 査読に対する不公平感をなくすこと。

部門誌論文・査読の基本的考え方

- 論文の内容に対する全責任は投稿者にある。
- 論文の査読は論文指導ではない。
- 論文の価値の評価をするのは査読者ではなく、読者である。
 - 投稿者は評価に耐えられる論文を作るよう、査読者は論文を早く取り上げるよう努力をすべき。
- 次の論文を出したくなるような査読をすべきである。
 - 何でも掲載すればよいというのでは勿論ない。
 - 論文誌のレベルが下がれば投稿する魅力がなくなる。

査読の要点(論文が備えるべき要件)

- 電気学術または技術に寄与するか
- 新規性、創造性、有用性のいずれか1つが認められるか
技術面のみならず、考え方や纏め方、各種応用上の問題点の指摘など、広い観点からの新規性、創造性、有用性の判断がポイント
- 明白な誤り、矛盾点がないか。論旨が一貫しているか。まえがきで指摘した問題点が、むすびで結論付けられているか
- 同一内容、類似内容が発表されていないか

判定の基準

- 判定は4段階とし、以下の基準による。
 - ① エディトリアルな修正のみ：
掲載(A判定)
 - ② 修正内容が推奨項目(Suggested change)のみ：
条件付き掲載 (照会后掲載) (B判定)
 - ③ 修正内容に必須項目(Mandatory change)を含む：
照会后判定(C判定)
 - ④ 論文の要件を具備していない：
返送(D判定)
- 照会后判定(C)は初回査読のみ選択可能
- 条件付き掲載(B)も原則、繰り返すことはできない

照会文の書き方(A、B、C判定)

- ① 必須修正項目(Mandatory change)、
 - ② 推奨修正項目(Suggested change)、
 - ③ エディトリアルな修正項目(Editorial change)
- に分け、判定の根拠を明確に記載する。
- ①の必須項目のある論文は、照会后判定(C)とする。
 - ②の推奨項目と③の項目のみの論文は照会后掲載(B)とする。
 - ③の項目のみの論文は掲載(A)とする。

1回目の査読でA判定をつける場合 の判定の際の注意

- 電気学術または技術に寄与していることを記載する。
- 新規性、創造性、有用性のどれが認められるかを(複数でも良い)、明確に記載する。

返送文の書き方

- 理由を具体的に、明確に記載する。
- 客観的な証拠に欠けていると判断された論文については修正の上、新たな論文としての投稿を勧める。
- 新規性、創造性、有用性のいずれも有していないことを明確に説明する。

(例)

- 既に発表されている論文**との違い、優位性が無い、あるいは、同一内容である。
- 論文の目的・主張・効果などが、論文記載のシミュレーションや実験データでは確認できず、新規性、創造性、有用性のどれも認められない。
- 理論式の展開の**部分に誤りがある。

その他

- 掲載決定論文の内容の変更は、原則として誤字、脱字、フォントの不一致など、editorialな修正を除いて一切認められない。
- 掲載決定後、最終原稿を作成する過程で意図的に論文として不適切な文言を追加したことが明らかになった場合には、掲載の決定を取り消す場合がある。
- 査読マニュアルの内容は、常に改善ができることとする

査読フローの改訂

- 昨年までの意見交換会の論文委員の意見を受けて、D部門論文委員会主査会、D部門役員会、編修会議の審議を経て、D部門では新しい査読フローを、今年1月より、2年間試行している。現行の電子査読システムの運用の範囲内の改訂となっている。

■ 改訂ポイント

- B判定とC判定をした論文委員は、著者照会後に再査読を必ず行うことになる。
 - (一部、例外となる場合があります：B・D判定の時)

査読要領(部門共通)の改訂(予定)

■ 判定B

(旧)条件付掲載。軽微な問題があるので、投稿者に照会して回答を得たうえで再度判定。

(新)軽微な問題点はあるが投稿者に照会のうえ一部修正すれば掲載可(条件付掲載)。

■ 判定C

(旧)照会后判定。疑義について投稿者に照会し、回答を得たうえで再度判定。

(新)若干の疑義につき投稿者に照会し、回答を得たうえで判定(照会后判定)。

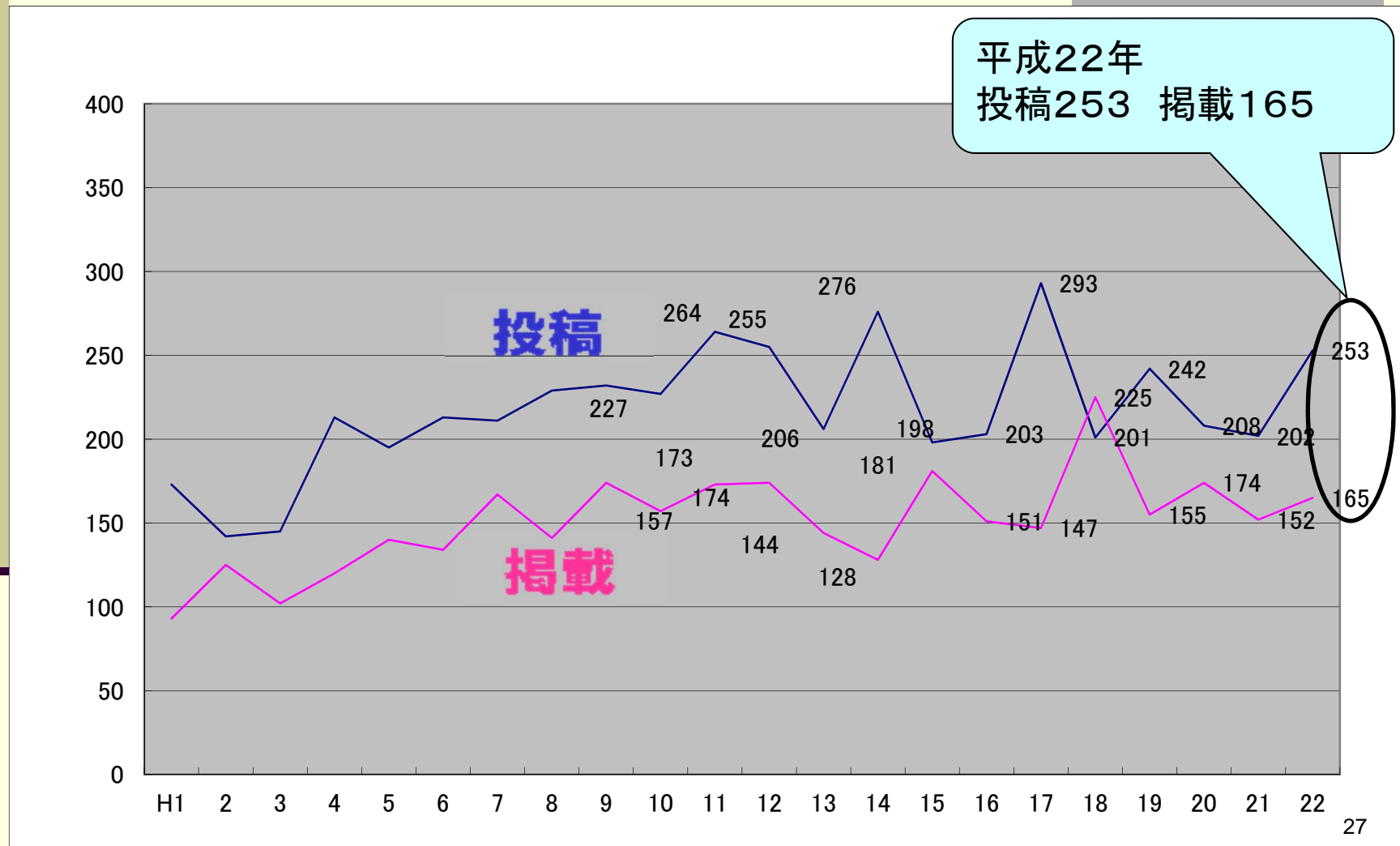
議事次第

- 論文委員会の新体制紹介・編修長あいさつ・・・竹下編修長
- 最近の論文委員会の活動について・・・竹下編修長
- 査読マニュアルについて・・・・・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況・・・・・・・・・・・・・・・・事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況・・・・・・村上編修長補佐
- 電子投稿査読新システムの立ち上げについて・・村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答・・・・・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- フリーディスカッション

論文投稿・掲載状況

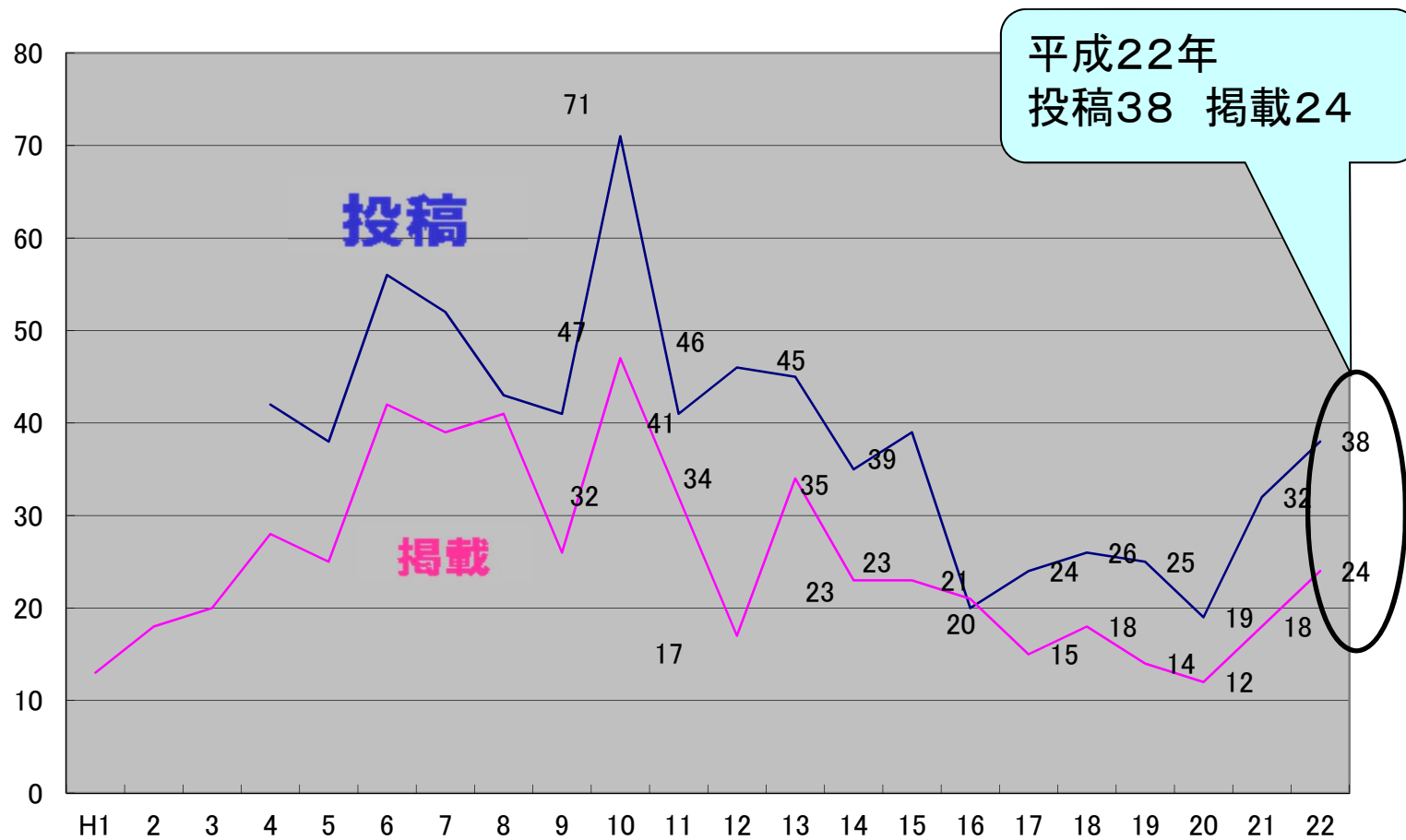
事務局まとめ

論文誌D 論文投稿・掲載件数の推移



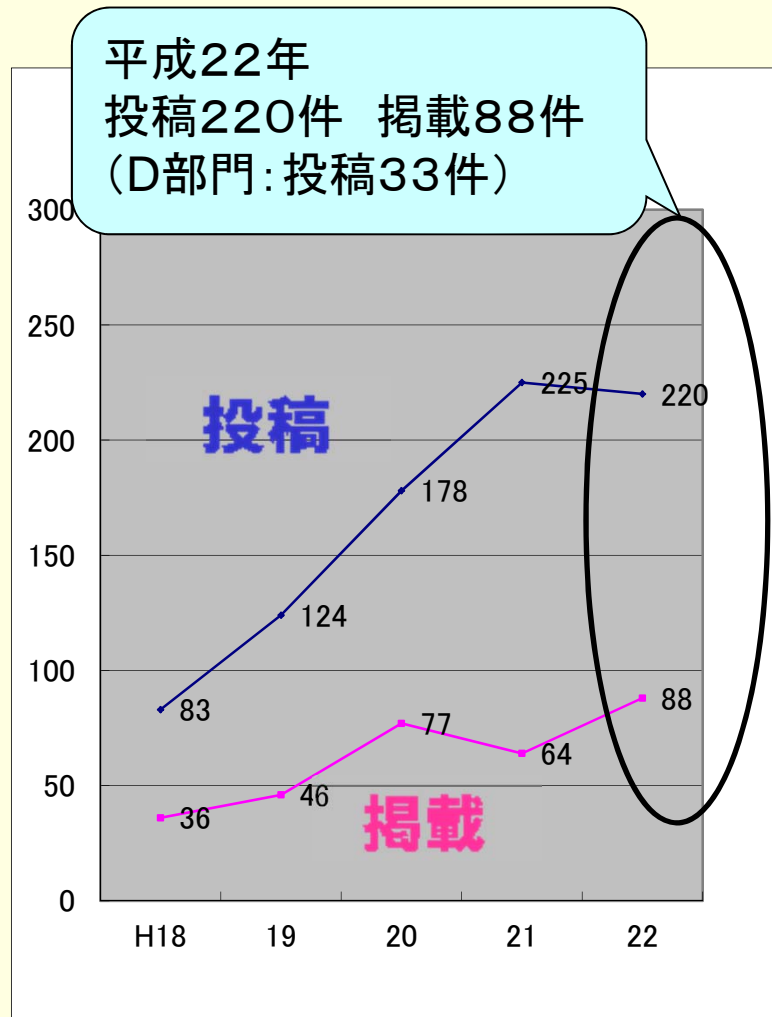
論文誌D

研究開発レター—投稿・掲載件数の推移

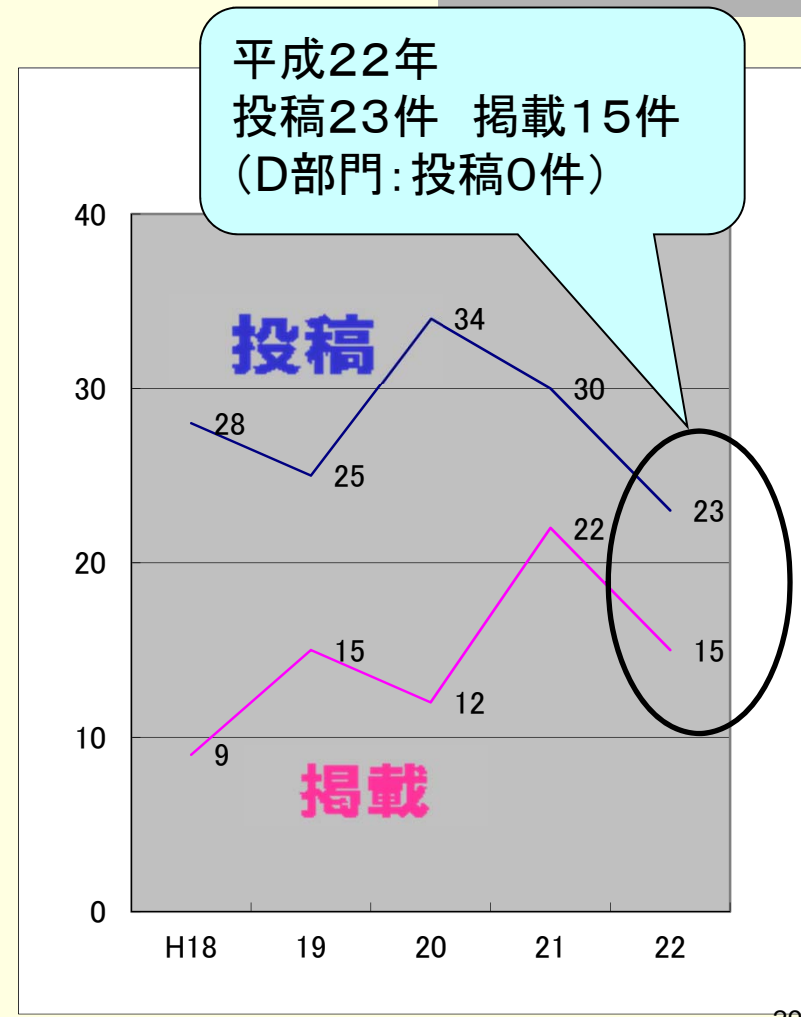


全部門 共通英文論文誌

論文・研究開発レター 投稿・掲載件数の推移



論文

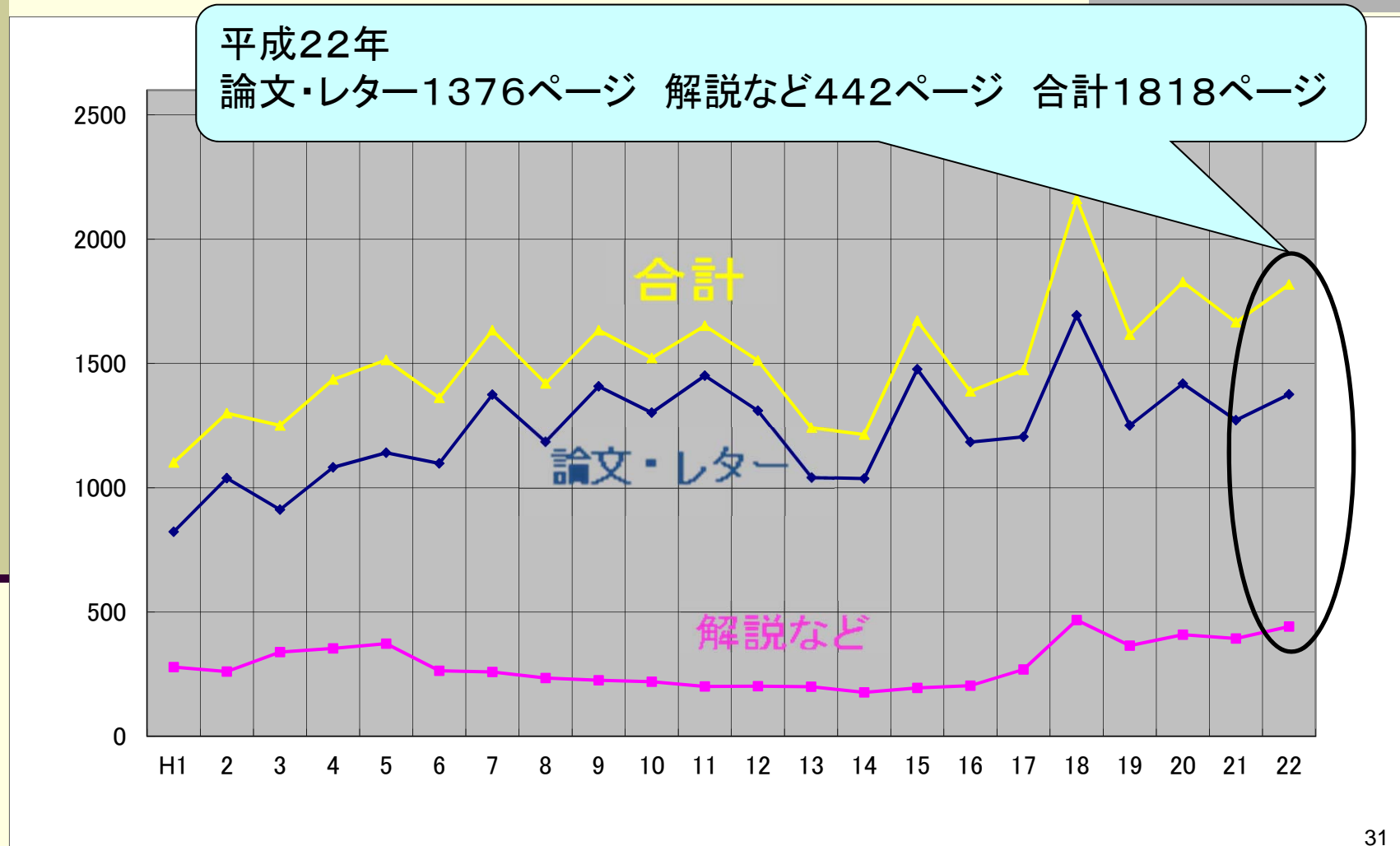


研究開発レター

共通英文論文誌

- 平成22年1月から部門誌と同様の査読
- アメリカThomson社の“Science Citation Index Expanded (TM) (SCI)”に登録
- 平成22年D部門関連の一般論文投稿が33件

論文誌D 発行ページ数の推移

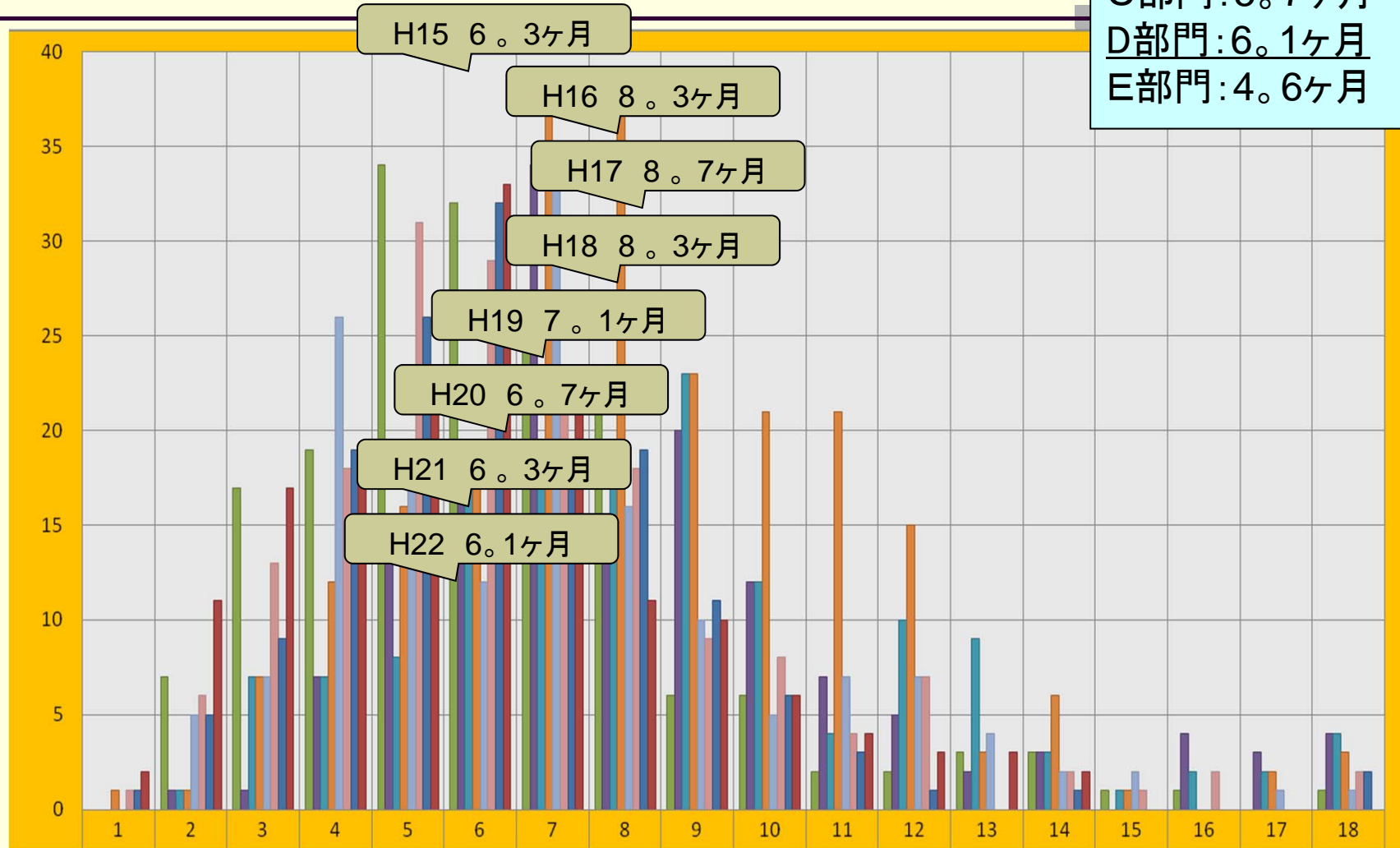


論文誌D

論文掲載までの所要月数

平成22年
 A部門:4.7ヶ月
 B部門:5.2ヶ月
 C部門:5.7ヶ月
 D部門:6.1ヶ月
 E部門:4.6ヶ月

掲載数



Extended Summaryのチェック

- 平成20年から、掲載が決定した和文論文のExtended Summary のネイティブ・チェック試行
- 全論文に拡大の方針
 - 外国人が理解できるExtended Summary へ！

議事次第

- 論文委員会の新体制紹介・編修長あいさつ・・・竹下編修長
- 最近の論文委員会の活動について・・・竹下編修長
- 査読マニュアルについて・・・・・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況・・・・・・・・・・・・・・・・事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況・・・・・・・・村上編修長補佐
- 電子投稿査読新システムの立ち上げについて・・村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答・・・・・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- フリーディスカッション

電子査読システムの運用状況

編修長補佐 村上俊之
(慶應義塾大学)

電子投稿・査読システム運用状況

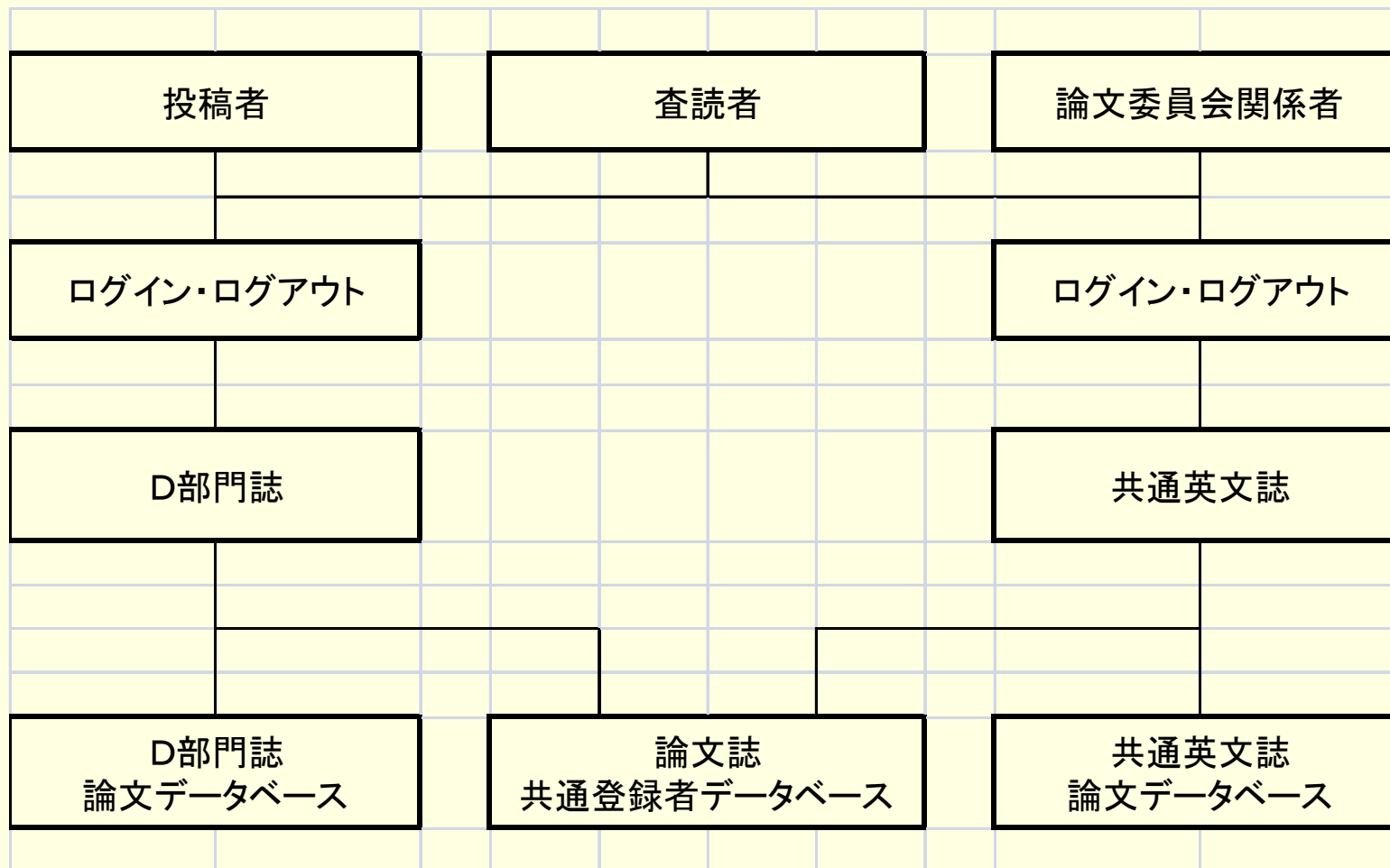
- 2011年1月より新査読フロー(2名再査読)による査読が行われています。
- 2011年4月よりD1～D3(3グループ)体制からD1～D5(5グループ)体制にて投稿論文の査読対応を行っております。
- 2012年7月より部門英文誌の発刊を予定しています。

電子投稿・査読システム運用状況

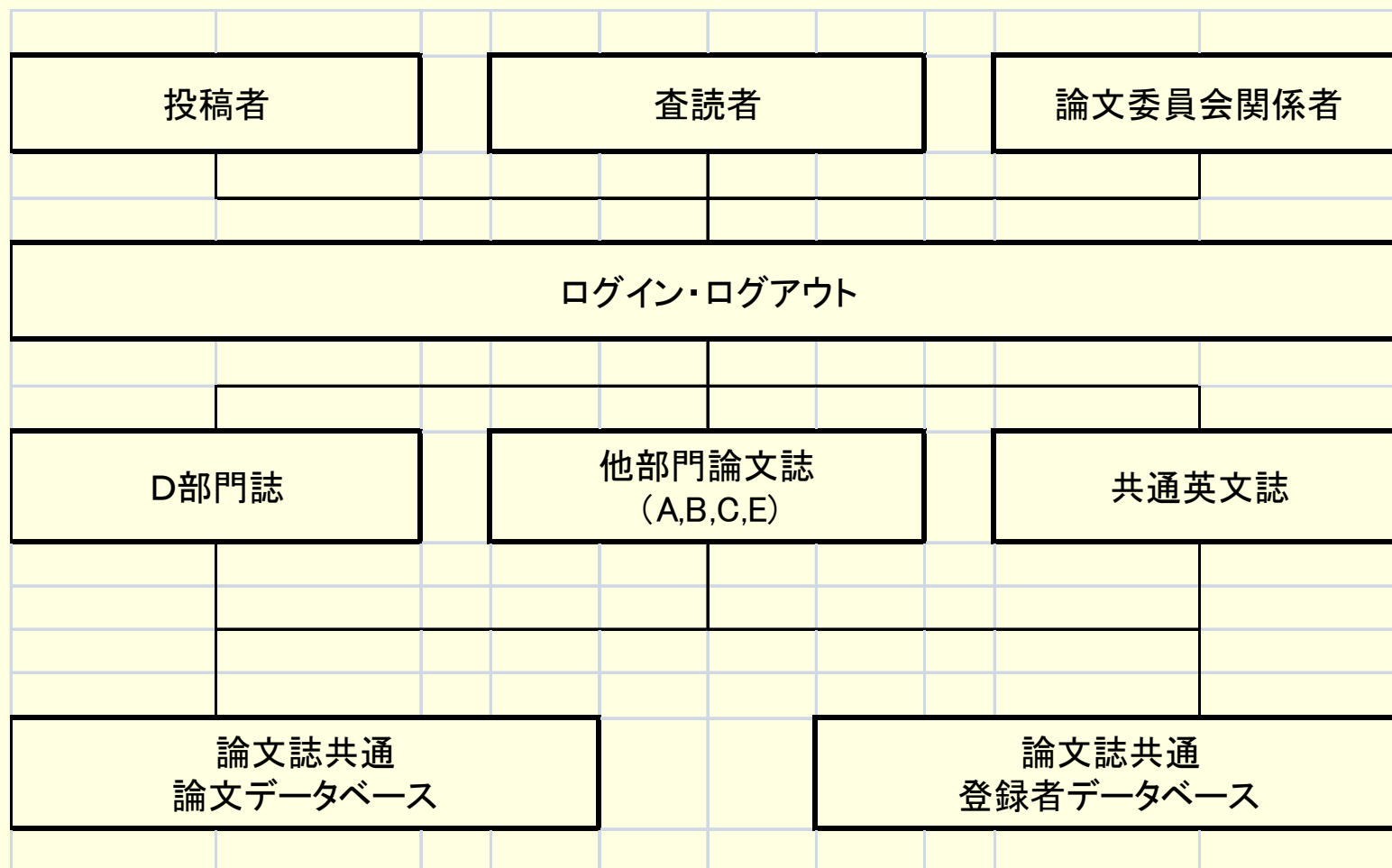
- 平成22年1月から、共通英文誌の電子査読・投稿システムの査読フロー変更（部門誌と同じフローへ：初回査読でC判定可）
- 全部門に跨る電子投稿・査読システム改善検討WGにおいてシステムのバージョンアップを検討

電子投稿・査読新システムの立ち上げについて

現在のシステムフロー



電子投稿・査読新システムの立ち上げについて 更新予定のシステムフロー



電子投稿・査読新システムの立ち上げについて 更新予定のシステムフロー

The screenshot displays the IEEJ Paper Management System interface. At the top, the title "IEEJ Paper Management System" is shown. Below it is a "Top Menu" section with a greeting: "A部門 一様, おはようございます." The main content area is titled "論文の投稿" (Paper Submission) and includes a form with the instruction "投稿する部門を選んでください," (Please select the department to submit to). A dropdown menu is open, showing options: "A", "TEEE A", "B", "TEEE B", "C", "TEEE C", "D", "TEEE D", "E", and "TEEE E". A red bracket on the right side of the dropdown menu points to the "TEEE" options, with the text "関係論文誌の選択" (Selection of related journals) written in red. Below the dropdown menu, there are several other form fields with "選択" (Select) buttons: "既投稿論文に関する著者へ" (To authors of previously submitted papers), "論文の再提出および最終原" (Resubmission and final original), "個人情報の更新および確認" (Update and confirmation of personal information), "専門領域の更新および確認(選択方式)" (Update and confirmation of specialized fields (selection method)), and "査読履歴の一覧" (List of review history).

電子投稿・査読新システムの立ち上げについて 更新予定のシステム

■ 変更点

- データベース(DB)をBarkleyDBからpostgreSQLへ変更
- DB構造は、登録者DB、論文DB、査読DBからなり、登録者DB(査読者選定)に関しては全部門間で共有。移行期間に登録情報を再度入力をお願いすることになります。何卒ご協力をお願いいたします。
- 2012年6月に新システムへの移行を予定しています。

D部門査読マニュアルのダウンロード

部門 [D] 産業応用 を選択

The screenshot shows the website of The Institute of Electrical Engineers of Japan (IEE of Japan) in a Windows Internet Explorer browser. The browser's address bar shows the URL <http://www.iee.or.jp/>. The page features a navigation menu on the left with various categories, a main content area with several departmental links, and a table of regional branches. The 'Department [D] Industry Applications' link is highlighted with a red box.

社団法人 電気学会

Site map English

検索

表示切り替え

- 電気学会のご紹介
- 入会のご案内
- 会員の方へ
- 出版物
- 論文投稿
- 大会・研究会・行事
- 委員会・特別委員会
- お知らせ
- リンク
- プレスリリース
- 調査関係規程
- 各種届出用紙
- 会員の変更手続き
- 電気学会掲示板
- プライバシーポリシー

Fundamentals and Materials
Power and Energy
Electronics, Information and Systems
Industry Applications
Sensors and Micromachines

事務局からのお知らせ

- ・クレジットカード一次利用停止について(8/30)
- ・電子ジャーナルの定期メンテナンスについて(10/1)

The Institute of Electrical Engineers of Japan

本部	部門	支部
・通常総会ご案内	・[A] 基礎・材料・共通	・北海道支部
	・[B] 電力・エネルギー	・関西支部
	・[C] 電子・情報・システム	・東北支部
	・[D] 産業応用	・中国支部
	・[E] センサ・マイクロマシン	・東京支部
		・四国支部
		・東海支部
		・九州支部
		・北陸支部

電気規格調査会(JEC)

- ・JEC設立100周年記念

東日本大震災被災技術者・研究者に対する学会活動へのご支援について

平成23年7月 電気学会

インターネット | 保護モード: 有効

120%

D部門査読マニュアルのダウンロード

D部門について を選択

The screenshot shows a Windows Internet Explorer browser window displaying the website for the Industrial Application Department of the Institute of Electrical Engineers of Japan (IEEJ). The browser's address bar shows the URL <http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/>. The website header includes the IEEJ logo and the text 'The Institute of Electrical Engineers of Japan' and '社団法人 電気学会 産業応用部門'. A search bar is located on the right side of the header. A navigation menu on the left side of the page lists various sections, with 'D部門について' highlighted by a red rectangular box. Other items in the menu include '入会・研究会', '論文誌', '研究調査活動', '出版物', 'ニュースレター', 'お知らせ', '人会案内', and 'リンク'. Below the menu, the main content area features a large orange banner with the text '産業応用部門' and a 'News & Events' section listing several upcoming events and seminars.

電気学会 産業応用部門 - Windows Internet Explorer

http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/

Google

Alt+G を押して検索

検索

Toshiy... 設定

電気学会 産業応用部門

The Institute of Electrical Engineers of Japan

Site map IEEJ Home English

社団法人 電気学会 産業応用部門

検索

D部門について

入会・研究会

論文誌

研究調査活動

出版物

ニュースレター

お知らせ

人会案内

リンク

お問い合わせ

産業応用部門

News & Events

産業応用部門 英文誌発刊説明会 英文誌発刊に向けての計画をご紹介します。
平成23年9月7日(水)12:15~12:45 琉球大学 大学会館 3F(産業応用部門大会会場)

2011 Korea-Japan Joint Technical Workshop on Semiconductor Power Converter
October 21 - 23, 2011, at Fukuoka University, Fukuoka Japan.

産業応用フォーラム「自動車の自動運転システム」
日時:2011年8月26日(金)14:00~17:00,会場:電気学会 会議室

第3回 若手人材育成夏季セミナー
「鉄道輸送を支える電気・情報・システム技術」開催のご案内
日時:2011年8月29日(月)~8月30日(火),会場:名古屋地区を予定,
定員:12名,参加費および交通費:技術委員会負担

ページが表示されました

インターネット | 保護モード:有効

120%

D部門査読マニュアルのダウンロード

論文委員会 を選択

The screenshot shows a Windows Internet Explorer browser window displaying the website for the Institute of Electrical Engineers of Japan (IEEJ), specifically the Industrial Applications Department. The browser's address bar shows the URL <http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/>. The website header includes the IEEJ logo and the text 'The Institute of Electrical Engineers of Japan' and '社団法人 電気学会 産業応用部門'. A search bar is visible on the right side of the header.

The main navigation menu on the left side of the page is as follows:

- D部門について
 - 部門の概要
 - 部門長挨拶
 - 組織構成
 - ・役員会
 - ・研究調査運営委員会
 - ・国際化推進委員会
 - 編修広報委員会
 - 論文委員会
- 大会・研究会
- 論文誌
- 研究調査活動
- 出版物
- ニュースレター
- お知らせ
- 入会案内
- リンク
- ✉ お問い合わせ

The '論文委員会' (Paper Review Committee) option is highlighted with a red rectangular box. Below the navigation menu, the 'News & Events' section is visible, listing several upcoming events and seminars.

D部門査読マニュアルのダウンロード

査読者の皆様へ を選択

The screenshot shows a Windows Internet Explorer browser window displaying the website for the IEEJ IAS Program Committee. The address bar shows the URL <http://www2.iee.or.jp/~ias/d-ron/>. The page content includes a navigation menu with buttons for 'Top Page', '特集号論文募集', '産業フォーラム', '投稿者の皆様へ', '査読者の皆様へ', and '論文委員会主催会'. The '査読者の皆様へ' button is highlighted. Below the navigation menu, there is a sidebar with a 'Contents' section containing links for '特集号論文募集', '産業フォーラム', '委員会構成委員', '投稿者の皆様へ', '査読者の皆様へ', and '特集号企画要領'. The main content area is titled 'お知らせ' (Notice) and contains a list of recent news items, including the 'New!' announcement for the 11th meeting of the Reviewers' Committee on 11.04.07. The status bar at the bottom indicates the page is in Internet Explorer's Protected Mode.

社団法人電気学会 > 産業応用部門 > 論文委員会

産業応用部門論文委員会

Top Page 特集号論文募集 産業フォーラム 投稿者の皆様へ **査読者の皆様へ** 論文委員会主催会

開始:平成20年08月08日(金)
更新:平成23年04月07日(休)

お知らせ

New!	11.04.07	第11回論文委員会主査会の議事録公開
	11.02.08	第6回論文委員会主査会の議事録公開
	10.12.07	第5回論文委員会主査会の議事録公開
	10.10.05	第4回論文委員会主査会の議事録公開
	10.09.17	第3回論文委員会主査会の議事録公開
	10.04.16	第1回論文委員会主査会の議事録公開
	10.01.07	平成23年3月号「モーションコントロール、計測・センサ応用全般」論文募集開始
	10.01.07	平成23年1月号「半導体電力変換研究会特集号」論文募集開始(投稿〆切:3月24日)
	09.10.26	論文査読マニュアルを改訂しました。査読者の方は必ずお読み下さい
	09.09.09	平成23年4月号「多次元センシング技術とその産業応用」論文募集開始(投稿〆切:平成22年5月25日)
	09.09.02	平成21年度論文委員意見交換会が9/2に部門大会会場(三重)で開催されます
	09.09.02	平成21年度第3回論文委員会主査会が9/2に部門大会会場(三重)で開催されます

<http://www2.iee.or.jp/~ias/d-ron/tokushu/> インターネット | 保護モード: 有効 120%

議事次第

- 論文委員会の新体制紹介・編修長あいさつ・・・竹下編修長
- 最近の論文委員会の活動について・・・竹下編修長
- 査読マニュアルについて・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況・・・・・・・・・・・・事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況・・・・・・村上編修長補佐
- 電子投稿査読新システムの立ち上げについて・・村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答・・・・・・・・・・・・竹下編修長
- フリーディスカッション

論文委員意見と回答

編修長 竹下隆晴
(名古屋工業大学)

事前のご意見と質問について

- Q1 論文投稿サイトのキーワードについて
- Q2 論文誌冊子廃止の影響について
- Q3 論文幹事について

合計3件、頂きました。
ありがとうございました。

H22年：18件、H21年：11件

Q1 論文投稿サイトのキーワードについて

- 昨年度（IIC（産業計測制御技術委員会）の取り扱う**範囲（キーワード）**を改正いたしました。それが、論文投稿サイトに反映されていないので変えたいと思っています。”

A1 論文投稿サイトのキーワードについて

■ キーワードについて

論文委員会のグループ構成変更（**3グループから5グループへ変更**）および論文投稿システムのバージョンアップ（**2012年6月**）を考慮し、論文投稿サイトのキーワード変更を検討しています。システム上の制約からシステムバージョンアップに合わせたキーワード変更を考えています。

Q2 論文誌冊子廃止の影響について

- 意見と言うほどのものではないかもしれませんが、**論文誌冊子廃止の影響**、たとえば産業界の方が論文誌を開く機会が減ったのかどうか、というようなことに関する調査を、いつかお伺いできればと思います。

A2 論文誌冊子廃止の影響について

- 論文誌冊子廃止の影響について

この件に関しては、大変重要と考えています。部門英文誌の新たな発刊計画と併せて冊子廃止の影響についても検証したく考えています。

Q3 論文幹事について

- 多様化する分野をカバーするためにも、**論文幹事を広く公募**されてはどうか？ また、幹事ごとに採択率や査読にかかる日数を指標にして、毎年交代するようにすることは可能でしょうか？

A3 論文幹事について

- 論文幹事の公募について

現状のシステムでは、論文幹事の選出は**技術委員会からの推薦**と論文委員会の承認を経て行っております。様々なバランスを考える必要はありますが、公募というのも有効な手法であると思います。今後検討したく思います。

- 採択率、査読日数について

採択率、査読日数は査読者にも大きく依存しています。論文の多様化に対応する策としては、**幅広い査読者の確保**が最重要と考えています。

議事次第

- 編修長あいさつ.....竹下編修長
- 査読マニュアルについて.....竹下編修長
- 論文投稿・掲載状況.....事務局まとめ
- 電子査読システムの運用状況.....村上編修長補佐
- 論文委員意見と回答.....竹下編修長
- フリーディスカッション

フリーディスカッション

終了時間: 13:10